

製品名: PI3 キナーゼクラス 3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21086**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:102kD;Observed MW:102kD

抗原情報

遺伝子名	PIK3C3
別名	phosphoinositide-3-kinase, class 3
遺伝子 ID	5289.0
SwissProt ID	Q8NEB9
免疫原	ヒト VPS34 の合成ペプチド

背景

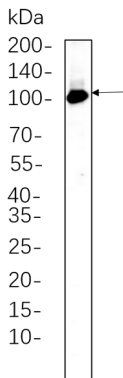
細胞局在: 中間体。後期エンドソーム。細胞質小胞、オートファゴソーム。PI3K 複合体 I の構成要素として、プレオートファゴソーム

ム構造に局在する。PI3K 複合体 II の構成要素として、主にエンドソームに局在する (PubMed:14617358) 。また、繊毛軸系に沿った個別の点状構造および繊毛軸系の基部にも局在する (相同性による) 。触媒活性: ATP + 1-ホスファチジル-1D-ミオイノシトール = ADP + 1-ホスファチジル-1D-ミオイノシトール 3-リン酸。補因子: マンガン。機能: PI3K 複合体の触媒サブユニット。リソソーム酵素前駆体のリソソームへの輸送に関与する。類似性: PI3/PI4 キナーゼファミリーに属する。類似性: 1つの PI3K/PI4K ドメインを含む。サブユニット: AMBRA1 および BECN1 と複合体を形成する可能性が高い (類似性に基づく) 。ヘテロ二量体。このサブユニットは、調節サブユニットと触媒サブユニットからなる複合体の一部であり、調節サブユニット PIK3R4 と会合する。組織特異性: 普遍的に発現し、骨格筋で最も高い発現を示す。、

研究分野

-

画像データ



ラット脳全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を PI3 キナーゼクラス 3 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。